

全国で活躍する大津町の人々

全国大会出場など



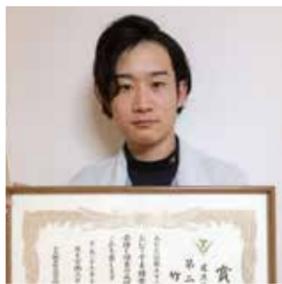
第5回なでしこサッカー大会(U-12) ~東日本大震災復興支援大会~

2月27日~28日に滋賀県で開催予定で、益城ルネサンス熊本FCジュニア所属の左から、古庄紗也さん(室)、坂田恵美さん(美咲野)、堀井紅羽さん(杉水)、上村真奈さん(室)が出場します。



ジュニアゴルフチャンピオンシップ決勝大会

2月27日~29日に栃木県で開催予定で、後藤大翔さん(美咲野)が出場します。



第53回技能五輪全国大会

昨年12月4日~7日に千葉県で開催され、竹中智弥さん(大林)が出場し、見事銀賞を受賞しました。

町では、スポーツ・文化の普及・振興を図るため、全国大会などに出場する場合(県予選大会を通過し、中央の競技団体などが主催する大会で、学校教育活動以外のもの)は、「大津町全国大会等出場報奨金交付要項」により激励金をお渡ししています。

●問い合わせ
役場生涯学習課
生涯スポーツ係(スポーツ部門) ☎096(293)8088
生涯学習係(文化部門) ☎096(293)2146

功績に敬意を表して

優良団体表彰など



●自動車整備士
まつだ こうせい
松田講成さん

昨年10月29日、「平成27年度自動車関係功労者大臣表彰」が東京都で行われました。多年にわたり自動車整備事業の振興に努めたことを認められての受賞となりました。



●大津町野外活動研究会

昨年11月29日、「平成27年度生涯スポーツ優良団体表彰」が阿蘇体育館にて行われました。野外活動を通して地域、行政の共同による推進に貢献しているとしての受賞となりました(写真は会長の高見静二さん)。



●大津町社会福祉協議会
介護支援専門員
たけなか こうや
竹中浩八さん

昨年12月22日、「社会福祉功労者および調理業務功労者厚生労働大臣表彰」が熊本県庁で行われました。多年にわたり地域福祉の推進に尽力し、その功績が特に顕著と認められての受賞となりました。

昨年、各種表彰が行われ、町の各分野で活躍する皆さんが受賞されました。表彰された皆さん、おめでとうございます。これからもご活躍ください。



American Post アメリカン ポスト



CIR (国際交流員) : マシュー・サイバート

FUN WINTER!!

もう、しばらくの間アメリカの大地を見ていないので、向こうでは冬をどう過ごしていたかを最近振り返っていました。私の故郷コロラド州では、雪が多く降り、白いブランケットで山々を飾ります。私が幼い時には丘でそり滑り、そして大きくなると山へスキーアート、冬の活動が楽しみでした。ただ、高校、大学へと進学し、最近では少なくなっていました。

つい最近、大分県の九重にスキーに行く機会がありました。最後にスキーをしてから、数年たっていましたが、大津町から一緒に行った人々と素晴らしい時間を分かち合いました。



九重のスキー場

日本では自然に降る雪は少ないようにみえます。しかし、そこには翌日の同じ場所で開催されるスキー大会に向けて雪を大量に送り出している、雪を作る機械がありました。

2日と7時間、スキーを楽しみ、顔には雪焼けと、手と足に少し痛みが残りましたが、忘れがたい経験を本当に楽しめました。招待してくれた皆さん、ありがとう。そして、皆さんにとっても同じように、長らく楽しい記憶として残りますように。写真も撮ってきたので楽しんでください。それではまた次回!

※長野オリンピックで使われた人工雪製造機の部品は、なんと! 姉妹都市のヘイスティングズ市内にある「フローサーブカンパニー」という農業用ポンプ生産工場で作られたそうです

ウズベキスタンからアッサロームアレイクム

JICA ボランティア青年海外協力隊 職種: 青少年活動 おおつか まりこ 大塚麻里子

「たくさんのウズっ子たちとの交流の中で」

最近自分の配属先を飛び出し、ウズベキスタン各地で活動する青年海外協力隊員の配属先へ、イベントなどの手伝いに行く機会が増えてきました。乳児院や病院、青年センターに行きました。自身の任地と違う新しいウズベキスタンを知ることができてとても有意義です。そこで、日本文化の紹介や熊本県の紹介などもしています。熊本の「サンバおてもやん」を一緒に踊ったこともありますよ。大変盛り上がりました! o(*^▽^*)o~♪

多民族国家のウズベキスタンでは、異文化を排除することなく、思いやりの心をもって互いの文化を尊重しながら共生しています。そのためか、異なる文化圏からきた私のこともすんなりと受け入れてくれます。どこへ行っても私に興味津々でモテモテの状態になります。

青少年と関わる時に、私がいつも大切にしていることは「感動体験」です。新しいことにチャレンジする時の「できた!」や「おもしろい!」という感情は、青少年の感性や知的好奇心を育み、次の行動ややる気へとつながります。そうは言いながらも、実際のところ私が、彼らの行動や発言に感動し、日々勉強させてもらっています♪そして、ウズっ子たちの元気なパワーが私の原動力になっています。



学生たちから日本の歌のプレゼント